

2019（平成31）年1月13日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第10期・第14回）の議事録は次のとおり。

- ・柳晴実副委員長が進行を行った。今回は部会に分かれず、全体で提言内容の修正・追加の確認と、最終報告書の構成、提言の背景・経緯の内容などについて、議論した。

1 全体協議

(1) 提言の内容について

【主な協議内容】

- ・提言2「外国人県民と行政の間のコミュニケーション促進」の、オリエンテーションイメージについて、開催の頻度は具体的に記載していないが、地域の状況に応じて開催する趣旨の記載を入れた方がよいか、検討する。
- ・提言4「外国人の集いの場」設置については、2つあった提言内容のうち、1つを提言5に移したことで、内容が「親ひろば」の事だけになったため、タイトルを「外国人親ひろば（仮称）」の設置に変更する。
- ・提言4の参加者の声は、実例の後に参考として書いてあるが、理由の文章の中に入れた方がよいと子育て・教育部会で意見が出ていたので、子育て・教育部会でもう一度検討する。
- ・提言5「県立高等学校における外国につながる生徒への支援充実」について、(1) および (2) に入っている「検討」という文言を取る。
- ・提言5について、「在県外国人等特別募集枠（以下、在県枠という）」を設けている高校は毎年変わり、新規で在県枠を設けた高校の中には多文化共生の意識が薄い高校もあるため、常に多文化共生の意識を持つてほしいという内容を文章中に記載する。
- ・提言5に、高校の現状等をもう少し加えるか検討する。
- ・提言の作りを、未就学児から小・中学校、高校という流れにしたいので、提言5と提言6の順番を入れ替える。
- ・提言6「学校現場での多文化共生教育の推進」について、一部削除する。

- ・提言全体の内容とりまとめは、各部長・副部長が行い、各提言で食い違い等がないか確認・調整する。

(2) 報告書の構成について

構成については、資料2の最終報告(案)のとおり検討している。委員長あいさつについては、委員長・副委員長が作成、各部会の提言背景・経緯については、各部長で作成するが、入れてほしい内容等があるか意見交換を行った。

【主な意見】

- ・委員長あいさつの中に、外国籍県民かながわ会議の成果(在県枠の設置)について確認し、文章に入れた方が良い。

(3) 報告書の副題

今回の最終報告書のタイトルについて、意見交換を行った。次回会議で、候補の中から1つタイトルを決定することとした。

【候補一覧】

- ・共に創る(真の)多文化共生社会をめざして
- ・未来への協力
- ・新たな時代に向かって歩んでいく
- ・心豊かな多文化共生社会をつくる
- ・外国人未来の支援かながわ
- ・Together Smile
- ・多文化共生

2 最終報告書作成に向けた準備作業について

次回会議日程は、3月10日を予定している。(資料4のとおり)

今日話し合った内容を踏まえて、各部会員は提言素案を修正し、1月31日までに各部長まで提出する。各部長は、部会員から提出された内容を確認し、適宜修正を行う。また、12月25日に閣議決定した、法務省の外国人受入整備の内容をどのように最終報告書に入れるかについての意見や、提言にならなかったもので記載してほしい内容、その他提言の背景・経緯や前文に記載してほしい内容については、1月31日までに事務局まで提出をお願いしたい。

3 その他

最終報告書の提出日について、現在調整中。日程が決まり次第、連絡する。

(以上)